

第28回経営・経済動向調査

(社)関西経済連合会
大阪商工会議所

目 次

概 要

1. 国内景気.....	2
2. 自社業況.....	3
(1) 総合判断.....	3
(2) 個別判断.....	4
3. 2008年の経済の見通しについて.....	6
(1) 来年1年間の日経平均株価の予想水準.....	6
(2) 来年1年間の円/ドル為替レートの予想水準.....	6
(3) 来年1年間の国内経済の懸念材料.....	7

概 要

1. 調査対象
 関経連・大商の会員企業 1,999社
2. 調査時期
 2007年11月27日～12月6日
3. 調査方法
 調査票の発送・回収ともFAXによる
 四半期ごとに実施
4. 回答状況
 595社(うち大企業223社、中小企業372社)
 企業区分は中小企業基本法に準拠
 有効回答率:29.8%

< 今回の調査に関するお問い合わせ先 >

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ 東浦・壺井

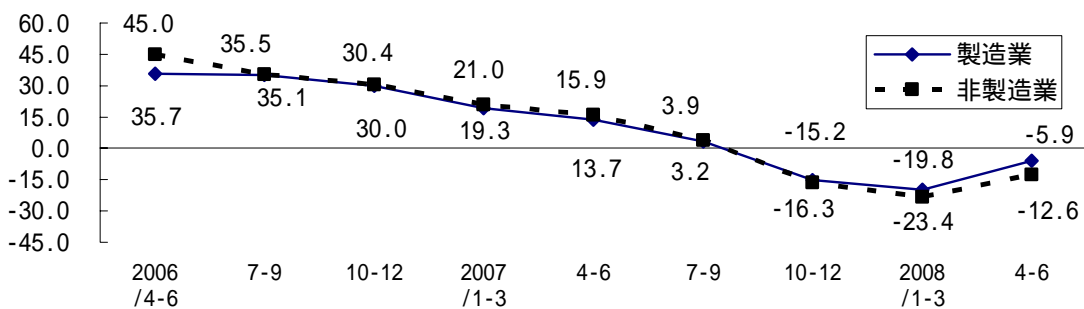
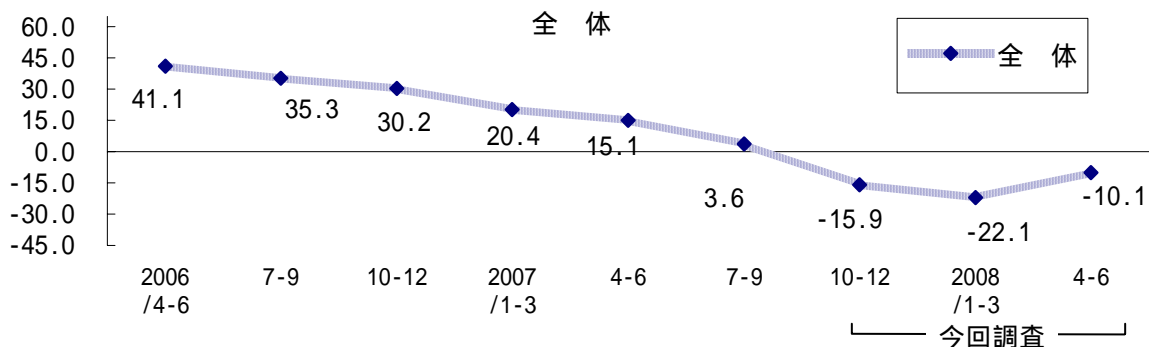
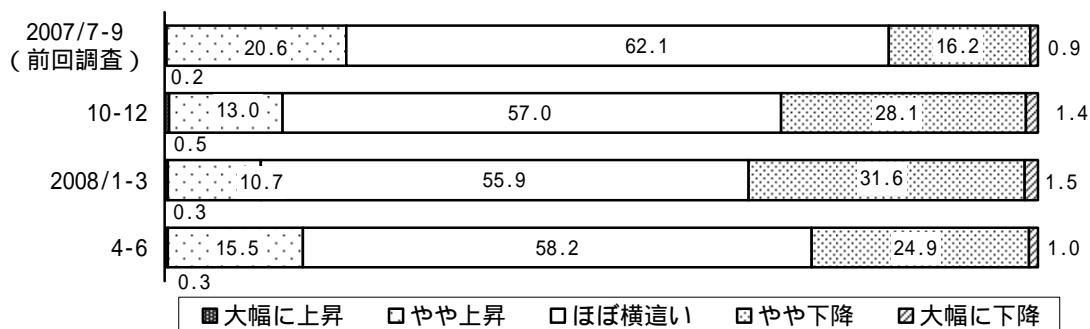
TEL: 06-6441-0102

1. 国内景気・・・BSI(10～12月期)は、15.9と大幅に下降(約2年ぶりマイナス)

- ・2007年10～12月期における国内景気の実績見込みを「上昇」(「大幅に上昇」「やや上昇」の合計、以下同じ)とみる回答は13.5%となり、前回2007年7～9月期実績の20.8%より7.3%ポイント減少している。また、「下降」(「大幅に下降」「やや下降」の合計、以下同じ)とみる回答は、29.5%となり、前回2007年10～12月期実績の17.1%より12.4%ポイント増加している。

以上の結果、BSI(「上昇」割合 - 「下降」割合、以下同じ)は15.9で、前回の3.6から大きく下降した。(BSIが15を下回ったのは、2003年6月以来4年ぶり)

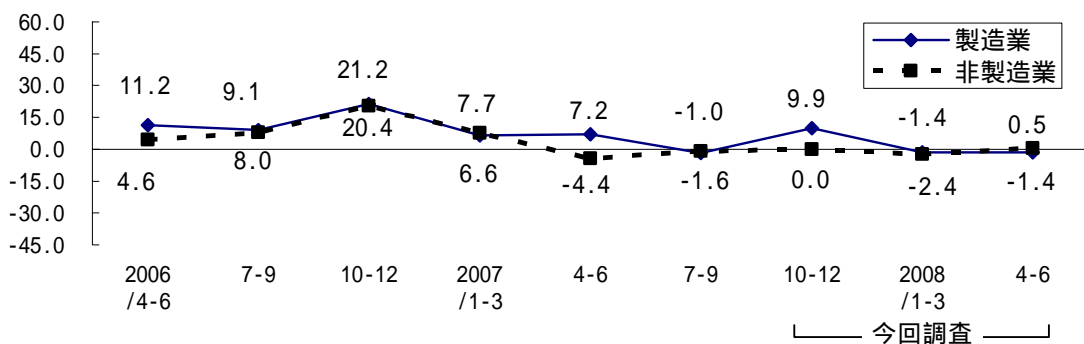
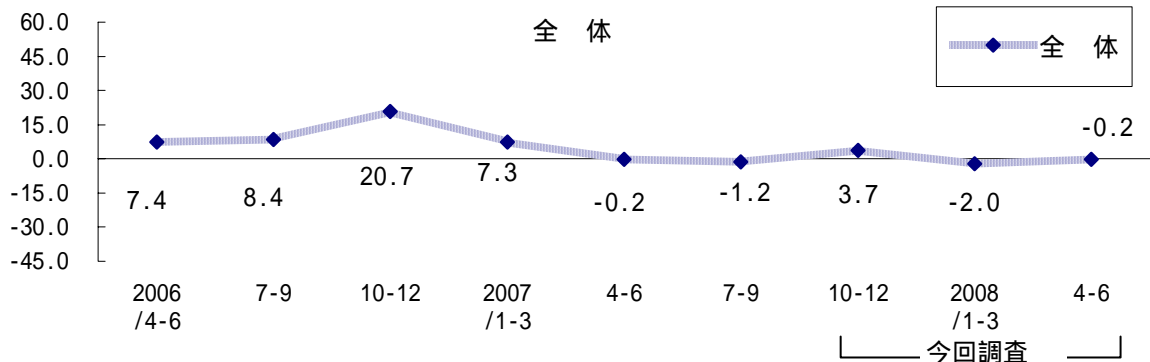
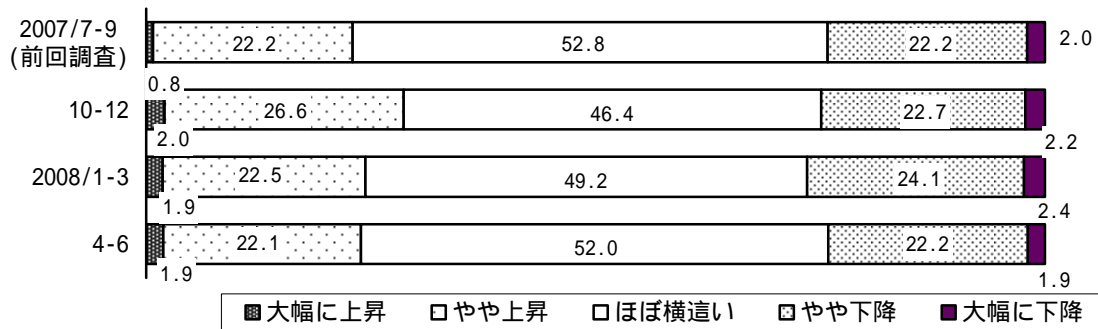
- ・先行きの見通しについて、短期(2008年1～3月期)のBSIは22.1と、足元の水準から下降しているが、中期(2008年4～6月期)は10.1と下降しており、景気先行きの見通しは横ばいとなっている。
- ・製造業の方が非製造業よりも、実績・先行きともに上回っている。



2. 自社業況

(1) 総合判断…BSI(10~12月期)は3.7と微増で、横ばいの動き

- ・ 自社業況の総合判断は、2007年10~12月期における実績見込みのBSIが3.7で、前回実績見込み(7月~9月期)の1.2から上昇した。
- ・ 先行きBSIは、2008年1~3月期が2.0、2008年4~6月期が0.2となっており、マイナス圏での横ばい動きとなっている。
- ・ 製造業、非製造業別では、2007年10~12月期の実績見込みは、製造業が9.9、非製造業は0となった。



(2) 個別判断…生産・売上高や経常利益の先行きに不透明感

➤ 生産・売上高について

2007年10～12月期実績見込みは「増加」が30.0%と、「減少」の24.0%を上回っている。また、先行きは「増加」が「減少」をわずかに下回っている。

➤ 製・商品の価格について

2007年10～12月期実績見込みは「上昇」が27.9%と、「下降」の8.8%を上回っている。

先行きは、「上昇」が「下降」を上回っているものの、「ほぼ不変」とする回答が大勢を占めている。

➤ 経常利益について

2007年10～12月期実績見込みは「増加」が23.4%と、「減少」の30.4%を下回った。

先行きは、「増加」が2008年1～3月期に20.2%、4～6月期に17.9%と下降している。

➤ 雇用判断について

2007年10～12月期実績見込みは「不足」が23.3%、「過剰」が5.4%と、「不足」が「過剰」を上回っている。

先行きは、「不足」が減少しているが、不足感が継続する見込みである。

➤ 製・商品在庫について

2007年10～12月期実績見込みは「過剰」が25.4%で、前回(2007年7～9月期)の22.9%より上昇している。

一方で、先行きは、「過剰」とする回答が減少、「ほぼ適正」とする回答が増加しており、「過剰」感は和らぐと見込まれている。

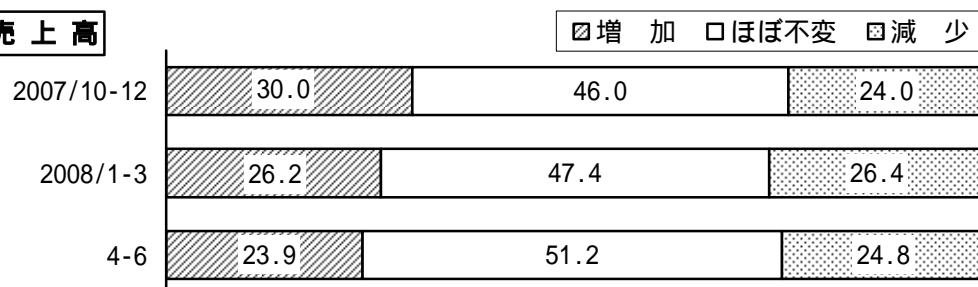
➤ 資金繰りについて

2007年10～12月期実績見込み並びに先行き見通しは、安定推移すると見込まれる。

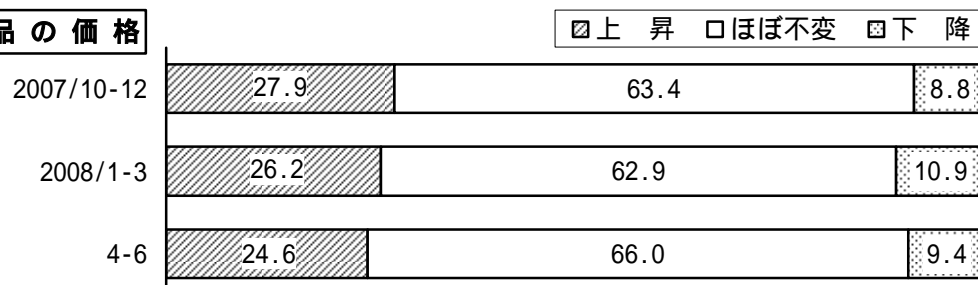
先行きについては、「ほぼ不変」が大勢を占める状況が続いている。

全体集計結果

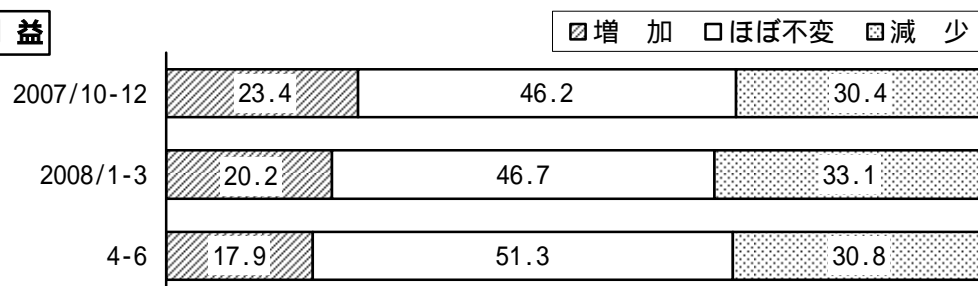
生産・売上高



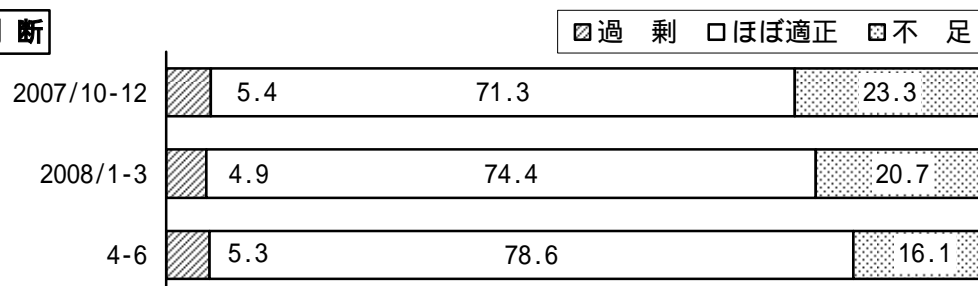
製・商品の価格



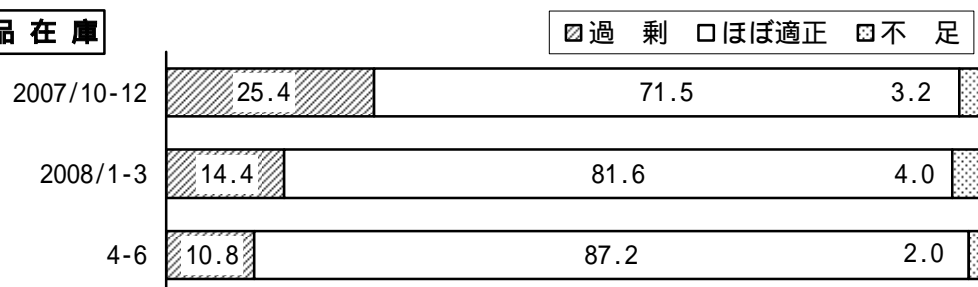
経常利益



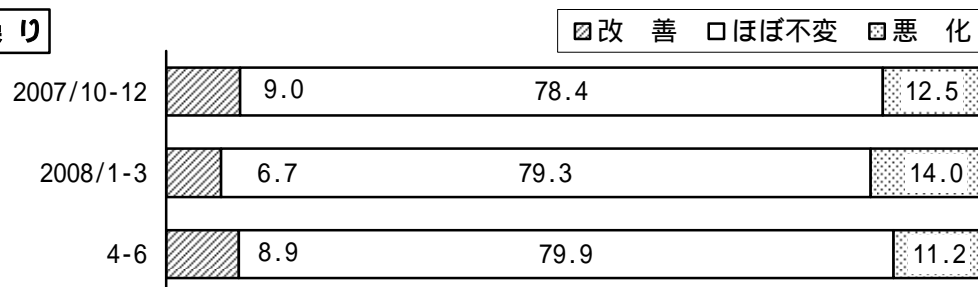
雇用判断



製・商品在庫

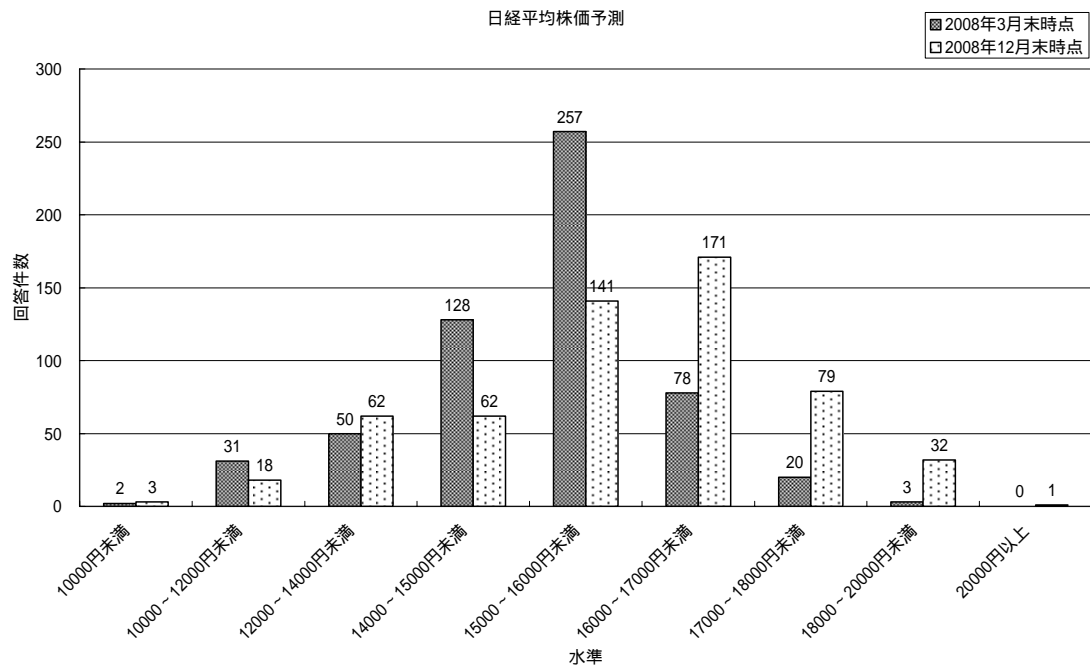


資金繰り

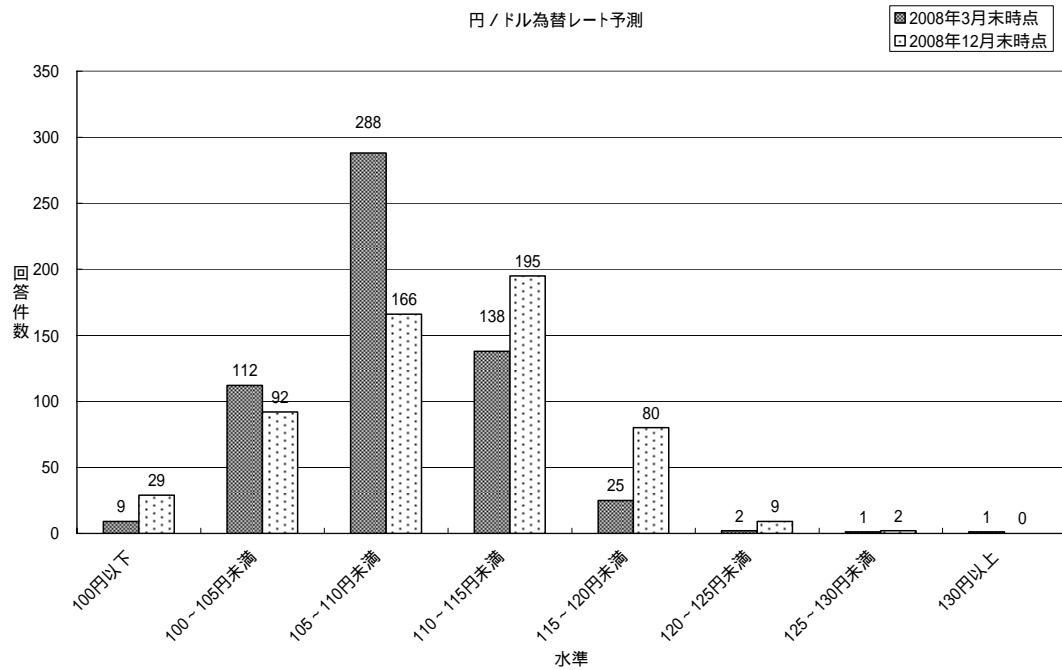


3. 2008年の経済の見通しについて

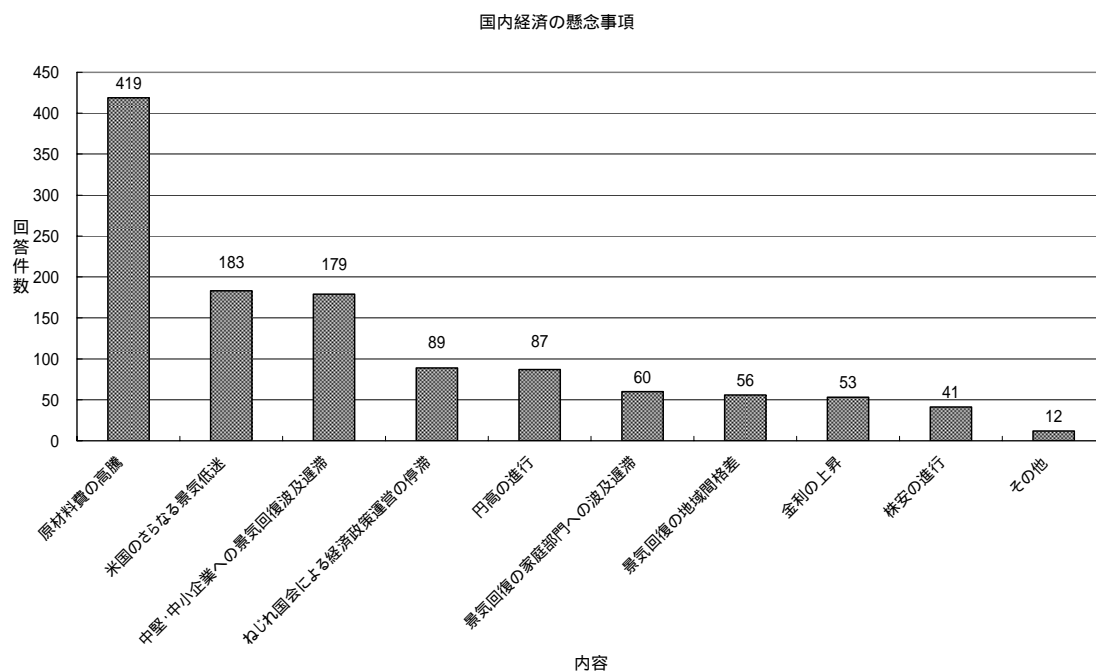
(1) 来年1年間の日経平均株価の予想水準(3月末・12月末時点で1つ選択)



(2) 来年1年間の円/ドル為替レートの予想水準(3月末・12月末時点で1つ選択)



(3) 来年1年間の国内経済の懸念材料(2つまで選択)



以上